

患者さんパスシート

カナ氏名  
氏名  
患者ID  
担当医

様

適用開始日  
適用予定日数  
パス名  
コメント

7日

自己末梢血幹細胞採取(G-CSFプロトコル)

日付	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院	入院2病日	入院3病日	入院4病日	入院5病日	入院6病日	入院7病日
目標	治療と入院のスケジュールを理解できる	注射による副作用症状がコントロールできる 幹細胞採取の準備ができる			幹細胞採取が問題なく実施できる		体調に問題なく退院できる
治療 処置				足の付け根か、首からカテーテルを留置します	 病室にて自己末梢血幹細胞採取を行います 処置中は心電計を装着します 採取終了後にアルブミンの輸血を行います 順調にいけばお昼過ぎくらいに終了予定です		カテーテルを抜去します
お薬	 持参薬のお薬を確認します						
注射	幹細胞を増やすために1日2回、皮下注射をします (入院日は1回です)			1日2回の皮下注射を継続します 採取前日と当日は幹細胞を増やす皮下注射を1種類追加します		採取2日目は朝のみ幹細胞を増やす皮下注射を行います	
検査	適宜血液検査を行います 検査がある時は前日の夕方、検査説明に伺います				 朝と採取後に採血があります	 朝と採取後に採血があります	 朝、採血があります
説明 指導	薬剤師からお薬の説明があります 				幹細胞採取時は臨床工学科の技師が同席します		退院の説明があります
	 注射によって腰や関節が痛くなったり、発熱する場合があります。症状がある時は薬が使えますのでお知らせください						
安静	 制限はありません	足の付け根にカテーテルが留置されてる時は、できるだけ病室内でお過ごし下さい				 制限はありません	
トイレ	 制限はありません				幹細胞採取前に排泄を済ませましょう		
清潔	 制限はありません シャワーができます	シャワーを希望される方は、カテーテルが濡れないようにカバーをしますので、看護師にお知らせください					 制限はありません
食事	 制限はありませんが、制限食や食事形態の希望のある方は栄養士、看護師にご相談ください						
その他					幹細胞採取中にしびれや過呼吸様の症状が出たときには、すぐにお知らせください		状況により、入院が継続になる場合があります

ご不明な点・お気づきの点がございましたら、ご遠慮なく看護師におたずねください。

※この表はおおよその経過をお知らせするものです。状態により変更することもありますので、あらかじめご承知おきください。